



久原 大輝

26日のジェイテクト戦を終え、今季のVリーグの戦いが幕を閉じた。

最終結果は7位。大変悔しい結果となったが、昨年10月からともに戦ってくれた選手・スタッフには、この場をお借りして、「ご苦労さまでした」とお伝えしたい。



選手を鼓舞する金子選手＝奥（3月11日）

悔しさばねに再出発

結果が出ない中でも、毎日ボールを追い続けてきた選手たちには、尊敬の念でいっぱいだ。

しかし、勝負事なので、ファイナルの舞台で選手が躍動している姿を見られないのは残念でもある。私自身ももっと良いサポートができたのでは、選手とうまくコミュニケーションが取れていたのか、スタッフともっと密な関係を築けたのでは、などと反省点を挙げればきりが無い。

選手たちも、この結果に終わったことを、満足している者はいない。ここからはい上がるには、「変わる」ことを恐れてはいけなと思う。各人の意識レベルをさらに上げること、普段の練習・業務から、覚悟を持って取り組むこと。そして、5月1日に開催する黒鷲旗全日本男女選抜大会では、今季味わった悔しさを晴らすため、チーム一丸となって頂点をつかみにいく。

ファンの皆さまには、さまざまなお思いを背負って黒鷲旗を戦う選手たちの背中を、引き続き後押ししていただきたい。

（JT広島マネジャー）